

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調整費

事業名 全国高等学校総合文化祭派遣費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県環境生活部県民文化局 文化伝承課 教育文化係

電話番号：058-272-1111 (内 3577)

E-mail: c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額：1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・7月下旬に行われる全国高等学校総合文化祭に本県代表として派遣する生徒の交通費・宿泊費の一部を負担。
- ・他県代表生徒の活動成果の鑑賞、参加生徒相互の啓発と連盟全体の技量向上、生徒たちの文化部活動への意欲向上や肯定的な態度の育成、高等学校文化部活動の充実と振興への貢献。
- ・新聞部会・弁論部会の新設による参加人数の増加、開催2年前からの全国高等学校総合文化祭参加人数の増加 (先催県データによる)、大会開催前年の総合開会式での交流事業や本県大会PRへの参加等、令和6年までの段階的な派遣費増加の見込み。

(2) 事業内容

岐阜県高等学校文化連盟に補助金 (1,000 千円) を交付。

(平成22年度より定額制に変更)

(3) 県負担・補助率の考え方

(4) 類似事業の有無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	岐阜県高等学校文化連盟に補助金として交付し、参加者へ分配。
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育ビジョンにおいて、「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が目標として掲げられている。

(2) 国・他県の状況

【全国高等学校総合文化祭に係る事業】

県名	予算額(単位:千円)	内訳
富山	5,218	交通費、宿泊費、運搬費
石川	2,112	交通費、宿泊費、運搬費
福井	8,119	交通費、宿泊費、運搬費
静岡	2,500	区分なし
全国平均	3,710	

令和2年度全国高文連基本調査より(令和2年9月現在)

全国高等学校総合文化祭に係る事業(単独)を実施しているのは、26都道府県であり、その平均は3,580千円となっている。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	全国高等学校総合文化祭派遣費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県高等学校文化連盟 （理由）岐阜県高等学校文化連盟は県内高校の文化部活動を掌握し、組織的機能を持つ唯一の団体であるため。
補助事業の概要	（目的）国内高校生芸術文化活動最大の祭典への県代表生徒の派遣 （内容）派遣に際しての旅費及び宿泊費の一部を補助。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）全国高等学校総合文化祭派遣費補助金交付要綱に定める補助金額により、生徒旅費及び宿泊費を補助。 （理由）県代表生徒の金銭的負担を軽減することで、文化芸術活動への意欲向上や各部門における技量向上を図るため。
補助効果	全国レベルの活動成果の鑑賞、参加生徒相互啓発と連盟全体の技量向上、生徒たちの文化部活動への意欲向上や肯定的な態度の育成、高等学校文化部活動の充実と振興。
終期の設定	終期 R6 年度 （理由）全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催される、一つの大きな節目であるため。

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>全国高等学校総合文化祭の本県開催までの連盟全体の技量向上とそれに伴って得られる参加人数枠の拡大。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
①派遣補助対象生徒数		350	450

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	(予算額) 1,000 千円	(要求額) 1,000 千円
指標①目標	450	450	450	450	450

指標①実績	281	350	297	(推計値) 0	(推計値) 350
指標①達成率	62,4%	77,8%	66,0%	(推計値) 0%	(推計値) 77,8%

(前年度の成果)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020 こうち総文は一部の部門が中止、その他の部門がウェブ上で開催となり、生徒の派遣が行われなかったために補助金は交付せず。

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・ 令和2年度の相次ぐ大会等の中止による令和3年度の代表生徒選考材料の不足。
- ・ 各部門の県上位校の強化。
- ・ 新規部門の裾野の拡大と着実な育成。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県代表校の派遣費の一部を補助することが各学校の文化部活動の動機づけの一つとなり、全体の活性化につながっているのは明白で、将来の県民文化の一層の発展のためにも本補助金は必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	派遣生徒が得た経験の部への還元、専門部会でのさらなる切磋琢磨する雰囲気醸成など、波及効果が大いなのは明らか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	毎年各部・各生徒の日程や移動手段の綿密な計画を実施。

(事業の見直し検討)

子どもの数の減少や教員の働き方改革の影響による部活動の縮小が進行する中で、縮小の対象となりやすい文化部活動の全国大会出場への金銭的支援である本事業を廃止した場合、本県の高校生の文化芸術離れが加速し、さらには将来の岐阜県の芸術文化の衰退につながる事が予想される。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由) 第3次岐阜県教育ビジョンにおいて「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が目標として掲げられている。次代を担う高校生の芸術文化活動を支援し、その振興と活性化を図るために本事業は必要である。